

若年者への消費者教育推進のため、体系的な消費者教育について、先進的な取組事例を収集・分析する。

徳島県内全ての高等学校等において、消費者庁が文科省の協力を得て作成した消費者教育教材「社会への扉」を活用した授業を実施

(「高等学校等」には、公立高校(全日制、定時制)・私立高校・特別支援学校・高等専門学校も含まれる。)

プロジェクトの主な取組内容

黄色背景は、2018年度に徳島県内で実施

教材を活用した教員からの意見、改善案等を
尋ねるアンケート調査を実施

教材を活用した
授業実践例の収集

生徒に対する事前・事後
アンケート調査を実施

昨年度、授業を受けた生徒(在学学生)に対する
経年アンケート調査を実施



これまでの主な成果(徳島県内)

- ・2017年度、徳島県内の全ての高等学校等56校(生徒総数は約6,900人)において「社会への扉」を活用した消費者教育の授業を実施。
- ・授業実践報告会を開催(2018/3/13)
- ・参観した20校について「社会への扉」の徳島県における活用事例集を公表(2018/6/20)

全国展開

「若年者への消費者教育の推進に関するアクションプログラム」に基づき、
2020年度までに
全ての都道府県、全高等学校等で
「社会への扉」を活用した授業の実施を
目指して働き掛けを行う。